

東大阪市男女共同参画に関するアンケート調査

調査の趣旨とご協力のお願い

市民の皆様には日ごろから市政にご理解とご協力を賜り誠にありがとうございます。
東大阪市では、平成23年3月に「第3次東大阪市男女共同参画推進計画～東大阪 未来 翔プラン～」を策定し、男女共同参画社会の実現をめざして様々な施策に取り組んでいます。

今回のアンケート調査は社会情勢に応じてプランを見直すため広く市民の皆様のご意見をお聞きするために実施します。お忙しい中大変恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただきご協力くださいますようお願い申し上げます。

※回答はすべて無記名で統計的に処理されます。このアンケート調査によって個人が特定されたり、情報が漏れたりすることはありません。

※このアンケート調査は、市内在住の満18歳以上の男女を無作為に選んで実施するものです。

平成26年6月

東大阪市長 野田 義和



調査票を記入していただくうえでのお願い



1. 回答は、**ご本人のお考え**で記入してください。ただし、ご本人が記入できない場合は、ご家族などに代筆していただき、ご本人の意思を尊重して回答してください。
2. 回答は、黒のボールペンまたは濃い鉛筆で記入してください。
3. 回答は、**あてはまる番号を選んで○をつけて**ください。また、記述を必要とする箇所は、その内容を記入してください。
4. 記入後は、この調査票を同封の返信用封筒に入れ、**7月7日(月)まで**にお近くの郵便ポストに投函してください。(切手は不要です。)

<お問い合わせ>

東大阪市 人権文化部 男女共同参画課
〒577-8521 東大阪市荒本北一丁目1番1号

電話：06-4309-3300 (直通) ファックス：06-4309-3823

あなたについておたずねします

問1 あなたの性別は。(〇は1つ)

1. 女性 2. 男性 3. その他

問2 あなたの年齢は。(〇は1つ)

1. 20歳未満 2. 20～29歳 3. 30～39歳 4. 40～49歳
5. 50～59歳 6. 60～69歳 7. 70歳以上

問3 あなたは結婚(事実婚を含む)していますか。(〇は1つ)

1. 結婚していない 2. 結婚している(事実婚を含む)
3. 離別した 4. 死別した

問4 あなたは、お子さんがいますか。(〇は1つ)

1. 子どもはいない 2. 子どもがいる ⇨ 問4-1へ

問4で「2. 子どもがいる」と回答された方におたずねします。

問4-1 何人の子どもがいますか。(〇は1つ)

1. 1人 2. 2人 3. 3人 4. 4人以上

問5 あなたの世帯構成は、次のうちどれですか。(〇は1つ)

1. 一人暮らし 2. 夫婦(事実婚を含む)のみ
3. 夫婦と子ども(二世帯) 4. ひとり親と子ども(二世帯)
5. 祖父母と親と子ども(三世帯) 6. その他(具体的に)

問6 あなたは、現在収入を得る仕事をしていますか。(〇は1つ)

1. 仕事をしている ⇨ 問6-1へ 2. 仕事はしていない

問6で「1. 仕事をしている」と回答された方におたずねします。

問6-1 それは、どのような働き方ですか。(〇は1つ)

1. 会社、団体、官公庁などの常勤の勤め人 2. パート、アルバイトの勤め人(常勤なみ)
3. パート、アルバイトの勤め人(短時間) 4. 自営業主・経営者(農林業を含む)
5. 自営業の手伝い、家族従業員 6. 内職など家庭のできる仕事
7. その他(具体的に)

問7 あなたの配偶者またはパートナーは、収入を得る仕事をしていますか。(〇は1つ)

1. 仕事をしている 2. 仕事はしていない 3. 配偶者またはパートナーはいない

⇨ 問7-1へ

問7で「1. 仕事をしている」と回答された方におたずねします。

問7-1 あなたの配偶者またはパートナーの働き方は次のどれにあたりますか。(○は1つ)

1. 会社、団体、官公庁などの常勤の勤め人
2. パート、アルバイトの勤め人（常勤なみ）
3. パート、アルバイトの勤め人（短時間）
4. 自営業主・経営者（農林業を含む）
5. 自営業の手伝い、家族従業員
6. 内職など家庭でできる仕事
7. その他（具体的に）

仕事について

現在あなた自身が「仕事をしていない」場合は、5ページ問13におすすみください

問8～問11は問6で、現在あなた自身が「1. 仕事をしている」と回答された方におたずねします。

問8 あなたは、1週間でおおよそ何時間くらい働いていますか。（残業時間も含みます）
(○は1つ)

1. 20時間未満
2. 20～30時間未満
3. 30～40時間未満
4. 40～50時間未満
5. 50～60時間未満
6. 60時間以上

問9 あなたの昨年1年間の収入（税込み）は、おおよそいくらでしたか。(○は1つ)

1. 103万円未満
2. 103～200万円未満
3. 200～300万円未満
4. 300～400万円未満
5. 400～500万円未満
6. 500～700万円未満
7. 700～1,000万円未満
8. 1,000万円以上

問10 あなたは、いまの仕事でストレス（不安や悩み）を感じていますか。

(①～⑨の項目ごとに○は1つずつ)

| | ストレスを強く感じる | ストレスを感じる | ストレスはほとんど感じない | あてはまらない |
|---------------------------------------|------------|----------|---------------|---------|
| ① 上司や部下、同僚との人間関係 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| ② 労働時間が長い | 1 | 2 | 3 | 4 |
| ③ 短時間勤務やフレックスタイム*などの制度がなく、勤務時間に柔軟性がない | 1 | 2 | 3 | 4 |
| ④ 収入がない | 1 | 2 | 3 | 4 |
| ⑤ 不況・解雇、将来性が感じられない | 1 | 2 | 3 | 4 |
| ⑥ 仕事がおもしろくない | 1 | 2 | 3 | 4 |
| ⑦ 子どもや高齢者の世話などがあって十分に働けない | 1 | 2 | 3 | 4 |
| ⑧ 休みが十分とれない | 1 | 2 | 3 | 4 |
| ⑨ その他（具体的に） | 1 | 2 | 3 | 4 |

*フレックスタイム制度… 労使協定に基づき、労働者が自分の始業時刻と終業時刻を一定の範囲で決められる制度

問6で、現在あなたが「2. 仕事はしていない」と回答された方におたずねします。

問13 あなたが仕事をしていないのはどうしてですか。(○は1つ)

1. やりたい仕事がない
2. 求職中である
3. 家事や子育てをしている
4. 介護・看護をしている
5. 定年退職した
6. 健康上の問題がある
7. 学生である
8. 働く必要がない
9. 働きたくない
10. その他(具体的に)

問14 あなたは、今後、収入を得る仕事につきたいと思えますか。(○は1つ)

1. ぜひ、仕事につきたい
2. できれば、仕事につきたい
3. 仕事につきたいと思わない
4. わからない

⇒問14-1へ

問14で「1. ぜひ、仕事につきたい」もしくは「2. できれば仕事につきたい」と回答された方におたずねします。

問14-1 あなたは、今後、仕事につく上で何か困ったことや不安がありますか。(○はいくつでも)

1. 自分のしたい仕事につけるか
2. 自分の資格や能力が通用するか
3. 職場の人間関係がうまくいくか
4. 賃金など、望む労働条件が得られるか
5. 自分の健康状態や体力
6. 家族の理解が得られるか
7. 家事、子育て、介護との両立ができるか
8. 年齢制限
9. 保育所(園)、学童保育を利用できるか
10. その他(具体的に)
11. 特になし

問15 今後、男女がともに仕事と生活の調和を図るためには、どのようなことが必要だと思えますか。(あてはまるもの3つまでに○)

1. 働く場の確保・再雇用制度の推進・充実
2. 育児・介護休業制度の普及や取得の促進
3. 労働条件の整備(労働時間短縮、フレックスタイムの普及等)
4. ワーク・ライフ・バランス*を大切にする意識啓発
5. 結婚退職、出産退職の慣行をなくす
6. 「男は仕事、女は家庭」といった固定的性別役割分担意識をなくす
7. 家族や配偶者(パートナー)の理解・協力
8. 昇進や賃金、教育訓練など職場における男女平等の徹底
9. 保育所(園)、学童保育など子育て環境や在宅福祉・施設福祉の整備・充実
10. 地域活動・ボランティアへの参加に対する上司や同僚などの理解
11. その他(具体的に)

*ワーク・ライフ・バランス… 誰もが、仕事、家庭生活、地域生活、個人の自己啓発など、様々な活動について、自ら希望するバランスで取り組むことができる状態のこと

問16 雇用において性別、価値観、ライフスタイル、セクシュアル・マイノリティ、障害等の多様性を受け入れ、広く人材を活用することで生産性を高めようとする考え方をダイバーシティといいます。あなたはこの考え方を推進することをどう思いますか。(〇は1つ)

1. 積極的に進めたほうがよい
2. 進めたほうがよい
3. どちらともいえない
4. 進めなくてもよい
5. わからない



日常生活や子育てについて

問17 あなたは、次の①～⑤の項目についてどのように思いますか。感じたままをお答えください。(①～⑤の項目ごとに〇は1つずつ)

| | そう思う | どちらか といえば そう思う | どちらとも いえない と思う | どちらか といえば そう思わない | そう おも 思わない |
|--------------------------------|------|----------------------|----------------------|------------------------|------------------|
| ① 男の子は男らしく、女の子は女らしく育てる方がよい | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ② 妻や子どもを養うのは、男性の責任である | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ③ 育児や介護、病人の世話は、男性より女性がする方がよい | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ④ 子どもが3歳くらいまでははおや母親のもとで育てる方がよい | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ⑤ 男性の方が女性より、管理職としての資質がある | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |

問18 あなたは、普段の平日をどのように過ごしていますか。①～⑥の各項目に使うおおよその時間をご記入ください。

| | | |
|------------------|------|-----|
| ① 睡眠 | 時間 | 分 |
| ② 食事、入浴など | 時間 | 分 |
| ③ 仕事・通勤あるいは学業・通学 | 時間 | 分 |
| ④ 家事・育児・介護など | 時間 | 分 |
| ⑤ 余暇、自由時間 | 時間 | 分 |
| ⑥ その他(具体的に) | 時間 | 分 |
| 合計 | 24時間 | 00分 |

問19、20における言葉の意味は次のとおりです。

「家庭生活」…………… 家族と過ごすこと、家事（食事のしたく、かたづけ、そうじ、洗濯、買物など）、
 育児、介護・看護など
 「地域・個人の生活」… 地域活動（ボランティア活動、社会参加活動、交際・つきあいなど）、学習・研究
 （学業も含む）、趣味・娯楽、スポーツなど

問19 あなたは、希望としては、どのような暮らし方をしたいと思いますか。あなたの希望
 に最も近いものを下から選んで○をつけてください。（○は1つ）

1. 「仕事」を優先したい
2. 「家庭生活」を優先したい
3. 「地域・個人の生活」を優先したい
4. 「仕事」と「家庭生活」をともに優先したい
5. 「仕事」と「地域・個人の生活」をともに優先したい
6. 「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先したい
7. 「仕事」と「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先したい

問20 それでは、あなたの実際の生活に最も近いものはどれでしょうか。最も近いものを下
 から選んで○をつけてください。（○は1つ）

1. 「仕事」を優先している
2. 「家庭生活」を優先している
3. 「地域・個人の生活」を優先している
4. 「仕事」と「家庭生活」をともに優先している
5. 「仕事」と「地域・個人の生活」をともに優先している
6. 「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先している
7. 「仕事」と「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先している

問21 あなたは、育児休業・介護休業を取得されましたか。また、今後取得する予定があり
 ますか。（①、②の項目ごとに○は1つずつ）

| | 取得した・ 取得する予定 | 制度はあるが 取得したことは ない | 制度がない | 制度について 知らなかった | その他 | 該当しない (子ども、介護が必 要な親族がいない) |
|--------|-----------------|-------------------------|-------|------------------|-----|---------------------------------|
| ① 育児休業 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
| ② 介護休業 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |

問22 あなたは、女性の生き方について、(1)どのような生き方が望ましいと思われるか。(男性もお答えください。)

また、(2)あなた(女性)の実際の生き方は、次のどれにあたりますか。(男性は、あなたの配偶者についてお答えください。配偶者のおられない方は⑨を選択してください。)((1)(2)それぞれに○は1つずつ)

| 女性の生き方について | | |
|-----------------------|-------------------|------------------------------------|
| (1) 望ましいと 思う生き方 | (2) 実際の 生き方 | |
| 1 | 1 | ① 結婚しないで、働き続ける |
| 2 | 2 | ② 結婚し、子どもを持つ、持たないにかかわらず働き続ける |
| 3 | 3 | ③ 結婚し、出産したら育児休業した後、職場に復帰する |
| 4 | 4 | ④ 結婚し、出産を機に退職し、家事・育児に余裕ができたなら再就職する |
| 5 | 5 | ⑤ 結婚し、出産を機に退職し、家事・育児に専念する |
| 6 | 6 | ⑥ 結婚し、出産をし、家事・育児に余裕ができてから初めて就職する |
| 7 | 7 | ⑦ 就職せず、結婚・出産し、家事・育児に専念する |
| 8 | 8 | ⑧ その他(具体的に) |
| | 9 | ⑨ 該当しない(配偶者はいない) |

問23 あなたは、自分の子どもには将来「どのような生き方」をしてほしいと思いますか。女の子、男の子それぞれの場合について、()内にあなたの考えに近い項目の番号を記入してください。子どもがいない方も、仮にいた場合を想定してお答えください。

| | |
|--------------------|--------------------|
| (1) 女の子の場合 () () | (2) 男の子の場合 () () |
|--------------------|--------------------|

- | | |
|----------------|-----------------------|
| 1. 社会的な地位を得る | 2. 経済的に自立した生活をする |
| 3. 人間性豊かな生活をする | 4. 家族や周りの人たちと円満に暮らす |
| 5. 社会に貢献する | 6. 本人の個性や才能を生かした生活をする |
| 7. 本人の意思に任せる | 8. その他(具体的に) |

問24 あなたは、結婚していないカップルが、子どもを持つことに対して、どのように感じますか。(○は1つ)

- | | |
|---------------|--------------|
| 1. 抵抗感がまったくない | 2. 抵抗感があまりない |
| 3. 抵抗感が少しある | 4. 抵抗感が大いにある |
| 5. わからない | |

問25 男女平等を進めるために、小学校・中学校でどのような取り組みが重要だと思えますか。(〇はいくつでも)

1. 男女平等の意識を育てる授業をする
2. 進路指導は性別によってかたよることなく行い、個人の能力、個性、希望を大事にする
3. 小学校の低学年から、「性」は人間の尊厳に関わるものであることを教える
4. 教職員に、男女平等教育に関する研修を充実する
5. 校長や教頭に女性を増やす
6. 家庭科教育などにおいて、男女が平等に家庭の責任を果たすことの大切さを教える
7. メディア（インターネット、テレビ、新聞など）の情報を正しく読み解き、役立てる能力を養う教育を進める
8. 保護者会などを通じて保護者に対して男女共同参画の啓発をする
9. その他（具体的に）
10. 特にない

男女の地位に関する意識について

問26 あなたは、社会における次の分野において、男女が平等になっていると思えますか。
(①～⑨の項目ごとに〇は1つずつ)

| | 男性が優遇 されている | どちらか といえば 男性が優遇 されている | 平等 である | どちらか といえば 女性が優遇 されている | 女性が優遇 されている |
|-------------------------------|----------------|--------------------------------|-----------|--------------------------------|----------------|
| ① 学校教育の場では | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ② 雇用の機会や働く分野では | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ③ 職場（賃金や待遇など）では | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ④ 家庭生活の場では | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ⑤ 地域活動、社会活動への参加では | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ⑥ 社会通念・慣習やしきたり (冠婚葬祭など) では | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ⑦ 法律や制度では | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ⑧ 政治・経済活動への参加では | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ⑨ 社会全体からみて | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |

問27 「男は仕事、女は家庭」という男女で役割を固定した考え方について、あなたはどのように
 思いますか。(〇は1つ)

- | | | |
|------------------|------------------|----------|
| 1. 同感である | 2. どちらかといえば同感である | ⇒ 問27-1へ |
| 3. どちらかといえば同感しない | 4. 同感しない | ⇒ 問27-2へ |

問27で「1. 同感である」もしくは「2. どちらかといえば同感である」と回答された方におたずねします。

問27-1 その理由は次のうちどれに近いですか。(〇は1つ)

- | | |
|---------------------------|-----------------------------|
| 1. 子どもの頃からそのように教育を受けてきたから | 2. 社会の風潮・慣習としてそうなっていると感じるから |
| 3. 男女で違う役割を感じるから | 4. その他(具体的に) |

問27で「3. どちらかといえば同感しない」もしくは「4. 同感しない」と回答された方におたずねします。

問27-2 その理由は次のうちどれに近いですか。(〇は1つ)

- | | |
|---------------------------|-----------------------------|
| 1. 子どもの頃からそのように教育を受けてきたから | 2. 社会の風潮・慣習としてそうなっていると感じるから |
| 3. 男女で役割を決めるのはきゅうくつだから | 4. その他(具体的に) |

地域活動や健康、老後の暮らしについて

問28 防災・災害復興対策において、性別に配慮した対応が必要だと思いますか。(〇は1つ)

- | | | |
|-----------------|------------------|----------|
| 1. 必要がある | 2. どちらかといえば必要がある | ⇒ 問28-1へ |
| 3. どちらかといえば必要ない | 4. 必要ない | |
| 5. わからない | | |

問28で「1. 必要がある」もしくは「2. どちらかといえば必要がある」と回答された方におたずねします。

問28-1 防災・災害復興対策において、性別に配慮した対応が必要なことは何ですか。
 (あてはまるもの3つまでに〇)

- 避難所の設備(男女別のトイレ、更衣室、洗濯干場等)
- 避難所運営の責任者に男女がともに配置され、避難所運営や被災者対応に男女両方の視点が入ること
- 災害時の救援医療体制(乳幼児、高齢者、障害者、妊産婦へのサポート体制)
- 公的施設の備蓄品のニーズ把握、災害時に支給する際の配慮
- 被災者に対する相談体制
- 防災会議に男女がともに参画し、防災計画に男女両方の視点が入ること
- 災害対策本部に男女がともに配置され、対策に男女両方の視点が入ること
- 災害復旧・復興対策計画に男女がともに参画し、計画に男女両方の視点が入ること
- その他(具体的に)

問29 あなたは、生活の中でどのようなことでストレス（不安や悩み）を感じていますか。
 (①～⑦の項目ごとに○は1つずつ)

| | ストレスを 強く感じる | ストレスを 感じる | ストレスを ほとんど 感じない | あ 当て はまらない |
|--------------------|----------------|--------------|-----------------------|------------------|
| ① 老後の生活（経済や健康） | 1 | 2 | 3 | 4 |
| ② 配偶者やパートナー、恋人のことで | 1 | 2 | 3 | 4 |
| ③ 子どものことで | 1 | 2 | 3 | 4 |
| ④ 経済的なことで | 1 | 2 | 3 | 4 |
| ⑤ 家事の負担 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| ⑥ 親の介護や病気 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| ⑦ その他（具体的に） | 1 | 2 | 3 | 4 |

問30 次の地域活動について、あなたの参加状況に近いものに○をつけてください。
 (①～⑤の項目ごとに○は1つずつ)

| | 参加した、している | | 参加したことがない | |
|------------------------------|--------------|----------------|--------------|----------------|
| | 今後も参加 したい | 今後は参加 したくない | 今後も参加 したい | 今後は参加 したくない |
| ① 自治会・町内会の活動 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| ② P T Aや子ども会の活動 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| ③ 地域における趣味・ スポーツ・学習の活動 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| ④ N P O（非営利団体）や ボランティアの活動 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| ⑤ 民生委員・市政協力委員 など公的な立場での活動 | 1 | 2 | 3 | 4 |

問30-1へ

問30-1へ

問30の①～⑤で「2.（参加した、している）今後は参加したくない」もしくは「4.（参加したことがない）今後は参加したくない」に1つ以上回答された方におたずねします。

問30-1 それはどうしてですか。（○はいくつでも）

- | | |
|-------------------|-------------------|
| 1. 仕事が忙しいから | 2. 家事・育児・介護で忙しいから |
| 3. 健康状態がおもわしくないから | 4. 活動に魅力がないから |
| 5. 人間関係がわずらわしいから | 6. 活動の情報が得られないから |
| 7. 参加するきっかけがないから | 8. あまり関心がないから |
| 9. その他（具体的に） | |

「女性」におたずねします。

問35 東大阪市では、女性の心とからだの健康を保つために以下の取り組みを行っています。あなたがご存じのものはどれですか。(①～⑦の項目ごとに○は1つずつ) また、利用したことがあるものには「4. 利用したことがある」にも○をつけてください。

| | よく 知っている | 聞いたこと がある | 知らない | 利用した ことがある |
|-------------------------------|-------------|--------------|------|---------------|
| ① 食生活や健康づくりに関する情報提供 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| ② 安心して出産にのぞむための検診・相談 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| ③ 女性特有の健康上の悩みなどに配慮した女性専用相談窓口 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| ④ 女性のための悩みや不安 (DV*を含む) に対する相談 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| ⑤ リフレッシュできるような場の提供 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| ⑥ 生涯を通じて心身ともに健康で過ごすための講座などの開催 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| ⑦ その他 (具体的に) | 1 | 2 | 3 | 4 |

***DV…** 配偶者や恋人など親しい人からの暴力

人権の尊重について

問36 あなたが、女性の人権が尊重されていないと感じるのはどのようなことですか。(○はいくつでも)

- 男女の固定的な役割分担意識 (「男は仕事、女は家庭」という考え方など) を押しつける
- 職場における差別待遇
- セクシュアル・ハラスメント (性的いやがらせ)
- 内容に関係なく女性の水着姿や媚びたポーズなどを使用した広告など
- 女性のヌード写真などを掲載した新聞、雑誌、ビデオ、DVD、ゲーム等
- 携帯電話やインターネット上のアダルトサイト
- 夫やパートナー、恋人からの暴力 (デートDV*を含む)
- 痴漢やレイプなどの性犯罪
- 性風俗営業、売買春、援助交際
- その他 (具体的に)
- 特にない

***デートDV…** 中高生、大学生など、結婚していない恋人間の暴力のこと

問37 あなたは配偶者やパートナー、恋人に、次のようなことをしたり、されたことがありますか。(①～⑭の項目ごとにあてはまるものすべてに○)

| | されたことがある | | したことがある | |
|----------------------------------|------------|-------------|------------|-------------|
| | 何度もあつた(ある) | 1、2度あつた(ある) | 何度もあつた(ある) | 1、2度あつた(ある) |
| ① 平手で打つ | 1 | 2 | 3 | 4 |
| ② こぶしでなぐったり、足で蹴る | 1 | 2 | 3 | 4 |
| ③ 身体を傷つける可能性のある物でなぐる | 1 | 2 | 3 | 4 |
| ④ 生活費を渡さない | 1 | 2 | 3 | 4 |
| ⑤ なぐるふりをして、おどす | 1 | 2 | 3 | 4 |
| ⑥ 刃物などをつきつけて、おどす | 1 | 2 | 3 | 4 |
| ⑦ 相手がいやがっているのに性的な行為を強要する | 1 | 2 | 3 | 4 |
| ⑧ 見たくないのに、アダルトサイトやポルノ映像・雑誌を見せる | 1 | 2 | 3 | 4 |
| ⑨ 何を言っても長期間無視し続ける | 1 | 2 | 3 | 4 |
| ⑩ 交友関係や携帯電話、スマートフォンなどを細かくチェックする | 1 | 2 | 3 | 4 |
| ⑪ 「誰のおかげで生活できるんだ」、「食わせてやっている」と言う | 1 | 2 | 3 | 4 |
| ⑫ 大声でどなったり、物を壊したりする | 1 | 2 | 3 | 4 |
| ⑬ 避妊に協力しない | 1 | 2 | 3 | 4 |
| ⑭ したり、されたりしたことがない | 1 | | | |

問37で①～⑬に1つ以上回答された方におたずねします。

問37-1 問37のようなことをしたり、されたとき、その後どうしましたか。(○はいくつでも)

1. 二人(夫と妻、パートナー・恋人同士)で話し合った
2. 親や兄弟姉妹、親類に相談した
3. 友人・知人に相談した
4. 公的機関(市役所、男女共同参画センター、配偶者暴力相談支援センターなど)に相談した(電話相談を含む)
5. 民間の機関(支援グループなど)に相談した
6. 安全なところに避難した
7. 医療機関(心療内科など)に相談した
8. 警察に連絡、相談した
9. その他(具体的に)
10. どこにも相談しなかった、また、相談できなかった ⇨ 問37-2へ



問37-1で「10. どこにも相談しなかった、また、相談できなかった」と回答された方におたずねします。

問37-2 どこにも相談しなかった、また、相談できなかったのはなぜですか。(〇はいくつでも)

1. どこに (誰に) 相談したらよいのかわからなかった
2. 恥ずかしくて誰にも言えなかった
3. 相談しても無駄だと思った
4. 相談したことがわかると仕返しをされたり、さらに暴力をふるわれると思った
5. 自分さえ我慢すればやっていけると思った
6. 自分にも悪いところがあると思った
7. 相談するほどの事ではないと思った
8. その他 (具体的に)
9. わからない

男女共同参画社会の形成に関する意識について

問38 「男女共同参画社会」とは、男女が、互いの人権を尊重しつつ、職場や家庭、地域活動など、社会のあらゆる場に対等に参画し、共に責任と喜びを分かち合う社会のことで、あなたは、「男女共同参画」を推進するために、どのような活動に参加したいと思いますか。(〇はいくつでも)

1. 男女平等をめざした制度や施策の制定や見直しについての意見を述べたり、提案をする
2. 政策決定の場に積極的に参加する
3. 男女の平等と相互の理解や協力についての学習会を開催したり、参加したりする
4. 女性の生き方に関する情報提供や交流の場、相談、教育などの活動に参加する
5. 子育て支援に関する活動に参加する
6. 高齢者や障害者の介助のための活動に参加する
7. 女性に対する暴力防止のための活動に参加する
8. 男女共同参画センターで開催される学習会や講演会に積極的に参加する
9. 多様な文化や生活習慣に関する理解を深めるための国際交流の場に参加する
10. 特にない・わからない
11. その他 (具体的に)



問39 あなたは、次の法律や言葉、東大阪市の取り組みをご存じですか。

(①～⑫の項目ごとに○は1つつ)

| | よく知って いる | 聞いたこと がある | 知らない |
|---|-------------|--------------|------|
| ① 東大阪市男女共同参画推進計画 ～東大阪 みらい 翔プラン～ | 1 | 2 | 3 |
| ② 東大阪市男女共同参画推進条例 | 1 | 2 | 3 |
| ③ 男女共同参画社会基本法 | 1 | 2 | 3 |
| ④ 男女雇用機会均等法 | 1 | 2 | 3 |
| ⑤ 東大阪市子どもを虐待から守る条例 | 1 | 2 | 3 |
| ⑥ 育児・介護休業法 | 1 | 2 | 3 |
| ⑦ ポジティブ・アクション (積極的改善措置) | 1 | 2 | 3 |
| ⑧ ジェンダー (社会的性別) | 1 | 2 | 3 |
| ⑨ ワーク・ライフ・バランス (仕事と生活の調和) | 1 | 2 | 3 |
| ⑩ リプロダクティブ・ヘルス/ライツ (性と生殖に関する健康/権利) | 1 | 2 | 3 |
| ⑪ ドメスティック・バイオレンス (DV) (配偶者や恋人など親しい人からの暴力) | 1 | 2 | 3 |
| ⑫ 男女共同参画センター・イコーラムの「女性のための相談」 電話相談 072-960-9206 面接相談予約 072-960-9205 | 1 | 2 | 3 |

問40 男女共同参画社会実現のためのご意見、ご要望がありましたら、ご自由にお書きください。

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

ご多忙の中、誠に恐縮ですが、この調査票を同封の返信用封筒に入れ、7月7日(月)までにお近くの郵便ポストに投函してください。(切手は不要です。)